

2018年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号
01010104

1. 計画名称

茅野市障害者保健福祉計画

2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	事業については順調に実施しているが、事業を継続していくための人材の確保等課題がある事項や、これから検討を重ねていく事項がある。
今後の重点化施策番号	2	説明	障害者の社会参加のためには移動支援が必要であるがまだまだ十分とはいえない状況である。地域を基盤とした自立した生活が送れるよう、移動支援の課題を中心に災害時の支援体制など取り組んでいく。

3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	自己実現と社会参加への支援	おおむね順調	成年後見支援センターの認知度が浸透し市民の相談も増えていきます。移動支援や自立支援医療の決定、手話通訳者の派遣等実施しました。	成年後見制度の申請者が増えてきていますが、後見人等が不足しています。専門職の数にも限界があるため市民後見人の育成が課題となっています。	市民後見人の育成に向け成年後見支援センターを委託している茅野市社協と連携していきます。
2	地域を基盤とした自立生活の支援	おおむね順調	年々障害福祉サービスの利用者数が増加しており、当事者の自立した生活を支援しています。H27年度以降福祉避難所開設訓練が行われていませんでしたが、H30年度に行いました。	障害福祉サービス利用者が増加していますが、障害福祉サービス事業所や計画相談支援員は増加に対し不足しています。福祉避難所開設訓練を行ったことで避難者の状況を記入する書類の内容の見直しなどさまざまな課題が上がりました。	障害福祉サービス事業所や計画相談支援員の不足については諏訪地域共通の課題であり、諏訪地域障がい福祉自立支援協議会を通じ協働して取り組んでいきます。福祉避難所については記入用紙の見直し等を行っていきます。
3					
4					
5					

※5つ以上の場合は裏面へ

4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称	障害福祉部会	障害の方のひきこもりを生まないため、また可動範囲を広げるためにも移動手段の検討は大切。また、障害児の居場所の確保、障害者と地域との接点を作り出す、災害時の事業所や保護者が感じている不安の解消。	障害福祉部会や関係機関と連携し検討を重ねながら課題の解決に向けて取り組んでいきたい。
開催回数	1		
参加延べ人数	15		
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			

5. 添付資料

別紙「施策評価シート」